

西鉄組合新聞

【発行所】福岡市中央区大手門1丁目4番16号
TEL092-771-2931 西日本鉄道労働組合
【編集発行者】渡辺裕二
定価 1部 30円 送料共
(この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。)



第24回参議院議員選挙組織内候補

幅広い知識を深め、問題解決能力強化!

組織教育局長は、「労働学校の目的は、組織人としての「人財」を育成すること」と、問題解決能力を高めるため考える能力を自身につけることであり、私鉄総連・木村敬業を取り巻く状況や経済状況さらには政治との関係を正しく把握することが重要」などと述べ、講座に入りました。挨拶し、講座に入りました。

第1講座では、私鉄総連・由野辺書記長が私たちの声を全国に届ける組織内議員の必要性などについて述べ、産別運動の強化を訴えました。

続く第2講座では、私鉄総連・準組織内衆議院議員・辻川清美氏が、難解な政治情勢をわかりやすくかつおもしろく解説。

私鉄総連 第35回中央労働学校が11月9日～11日の3日間、静岡県伊東市にて開催され、西鉄労組からは馬奈木分会長（若岐山口）、長谷川分会長（貞塚）が出席した。

回中央勞動學校



辻元清美衆議院議員(第3講座)

「中央労働学校」に参加して

第5講座では東洋大学で院教授・石井晴夫氏が、地方小民鉄の活性化に向けたビネスマデル構築について講義。そして、最終日の第6講座は、連合総合組織局長・山根晴久氏が、労働協約の重要性を解説とともに、労働者保

り、さらには要員不足解消のため
ききかけになればと思います。
他にもまだまだ多くの取組
組まなければならぬ課題がち
りますが、これからも私鉄の仲
間が力を合わせて、一つひとつ
問題に立ち向かっていかなければ
なりません。どうぞよろしく

影響を受けて改悪される危険性があることを知り、労働者側がルールの改悪阻止に向けた取り組みを進めていかなければならぬと思いました。

今回労働学校に参加させていただいたおかげで、ニュースなどでなんとなく知っていたことが深い知識となつたように思いました。また、分散会で他の組織の方々と意見交換や情報交換できたことなどを今後の労合運動になげていけるよう取り組んでいきたいと思います。

第5講座では、地方中小民鍵を活性化させる方策である地域公共交通政策に地域行政も巻き込んだビジネスモデルの創造について、興味深く学習すことができました。

金水準に近づけるための交渉を行うには経営分析が必要不可欠で、労使協議を行なうには自己の業績や経営状態を知るだけではなく、日本経済の情勢や日本企業全体の業績、自分たちの産業の状況を検証し把握しないといけないと感じました。

第5講座では公共交通の現状と課題がわかり、これから新しいまちづくり・地域づくりには、ひどい理想を押しつけてではなく、その地域・町やそこに住んでいる人々に合わせた公共交通の活性化を考え再 생각していくかなければならぬと思いました。

を説明していただき、今後私が
ができるとして、例えば院選挙で野党が結束して自
己の党政権を交代させること、安否
法案反対運動を継続して、真面目に
平和国家を取り戻すよう息
長い闘いが必要だということを
学びました。

• 100 •

私鉄総連第39回中央労働学校開催

■開催日…11月9日(月)～11日(水)
■場所…静岡県伊東市

■場所..静岡県伊東市

第4講座では、会社の経况を正しく知るには会社してくる数字を鵜呑みにではなく、独自で調べた工情報をもとに分析しな

内閣の内情と経団連とのつながりの仕組みの話には興味深く聞き入りました。

者だけ危険なことを思ふのを教へなければなりません。

民鉄の創立、地政法がすます

金水準に近づけるための交渉を行うには経営分析が必要不可欠で、労使協議を行なうには自己の業績や経営状態を知るだけではなく、日本経済の情勢や日本企業全体の業績、自分たちの産業の状況を検証し把握しないといけないと感じました。

第5講座では公共交通の現状と課題がわかり、これから新しいまちづくり・地域づくりには、ひどい理想を押しつけてではなく、その地域・町やそこに住んでいる人々に合わせた公共交通の活性化を考え再 생각していくかなければならぬと思いました。

3日目の第6講座では、連合会の歴史や労働者派遣法について

を説明していただき、今後私が
ができるとして、例えば院選挙で野党が結束して自
己の党政権を交代させること、安否
法案反対運動を継続して、真面目に
平和国家を取り戻すよう息
長い闘いが必要だということを
学びました。

第24回参議院議員選挙 組織内候補

私たちの代表、「森屋たかし」氏を国政へ!

森屋たかし 5つの約束

もりや

すべての基本は
平和

みんなで描く
地域の未来
みんなの想いを 国政へ

笑顔で
暮らせる社会

森屋たかしプロフィール

1967年 東京都西多摩郡檜原村生まれ
1986年 東京都立多摩工業高校 卒業
西東京バス株式会社 入社
2002年 西東京バス労働組合 本部執行委員
2006年 私鉄関東地方連合会 執行委員
2008年 私鉄関東地方連合会 副執行委員長
2010年 東京都交通運輸産業労働組合協議会 事務局長代行
2013年 関東地方交通運輸産業労働組合協議会 事務局長
2014年 日本私鉄労働組合連合会 バス対策部長
2015年 日本私鉄労働組合連合会 交通対策局長

◇家族
妻・一男一女
◇趣味
登山



* 森屋たかしホームページから抜粋
地域の活性化や未来を創るためにも、私は國政の場で「みんなの想い」を反映させれる大役を果たさせていたいと思います。

いろいろな工夫をして公共交通の維持・発展をさせることもあります。そこには企業としての誇りがあり、働くみなさんの努力があります。そのことをぶざに見聞きし、その一助に自分の役割を、と考えています。

地域の活性化や未来を創るためにも、私は國政の場で「みんなの想い」を反映させれる大役を果たさせていたいと思います。

私は東京都檜原村の生まれです。東京出身といつても都会育ちどころか、「バス便が生活を助ける」という過疎の村でした。もし村にバスがなかったら、役所や学校や病院そして会社に通えたかどうかわかりません。同時に、移動ができたからこそ、地域が活気づき、人との絆」ができた、と考えています。

過疎が進行しながらも、

もし村にバスがなかったら、

役所や学校や病院そし

て会社に通えたかどうかわ

かりません。同時に、移動が

できたからこそ、地域が活

気づき、人との絆」がで

きた、と考えています。

「森屋たかし」公式ホームページがオープン!

<http://www.moriya0628.com/>

是非一度、ご覧ください!!

MANGA
タまんがス
TIMES



『森屋たかし氏と
佐田委員長』
金武分会 萩峯 隆

晴れときどきコラム

2015年流行語大賞は「トリプルスリー」と「爆買」でしたね。確かに納得のいく受賞でしたが、最終候補に残ったものの中にも捨てがたいものが、その「三が」「エントレーメント」でした。

パワフルか、そうではないか審査過

程の不透明さなどで大きな話題と

なりましたが、そもそもエントレーメ

ントルの「エントレーメント」という

言葉で何?と思われませんでした

たか?

私たちが生活中でよく目にす

る企業のマークやロゴ。今回のオ

リエンピックの「エンブレム」とはう

たいに「エンブレム」とはう

まいに「エンブレム」とはう

まいに「エンブレム」とはう